

12月定例会

●会期 12月6日～12月14日(9日間)

5年ぶりの指定管理者の指定など全65議案を可決



12月定例会議案採決(発議案第3号)

| | |
|--------|-----|
| 今回は | |
| 市長提出議案 | 62件 |
| 議員提出議案 | 3件 |
| 請願 | 1件 |

【議案第9号】平館コミュニティセンター建設工事の変更請負契約の締結に関する議決を求めることについて

【議案第9号】平館コミュニティセンター建設工事の変更請負契約の締結に関する議決を求めることについて

音楽練習室の内装防音仕上げ材変更

(株)高建工業との工事契約金額を109万円増額し、3億3805万円に変更するものです。

Q 最近、変更契約の議案が多い。変更する場合は、資料配付などを行い、内容を精査できる説明が必要である。

A ご指摘のとおり契約変更が多いと感じている。今後は設計数量など庁内でも厳格に精査する。

Q 音楽練習室の内装仕上げ材の変更は、練習室の音響効果や防音上の不都合があったのか。コロナ化での建設資材高騰も影響しているか。

A 当初は、防音を重視した設計であったが、大音量を発生する場合も想定し、残響を防ぐ吸音材と吸音用のカーテンを設備し、施設の精度を上げるために変更するものである。

【議案第14号】八幡平市立大更コミュニティセンターに係る指定管理者の指定についてから【議案第54号】岩手山焼走り国際交流村に係る指定管理者の指定についての41件は、原案のとおり可決された。

【議案第55号】令和3年度八幡平市一般会計補正予算(第9号)

1億4959万円増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億4959万円を増額し、歳入歳出予算の総額を203億9652万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼除雪業務委託料 6000万円
- ▼主食用水稲生産緊急支援給付金 3330万円

Q この時期に除雪業務委託料6千万円の補正の内容は。

A 平成27年度から令和2年度までの除雪費は1億8千万円程である。その実績と12月1日に供用開始した大更駅前ロータリー、同地周辺の除雪費用などを増額するものである。

【議案第10号】繁殖育成センター建設工事の変更請負契約の締結に関する議決を求めることについて

537万円増額の変更契約を締結

(株)高建工業との工事契約金額を537万円増額し、17億5437万円に変更するものです。

Q 請負契約した建設工事費を変更する具体的な内容は。

A 除ふん用ローラー、えさ給餌機などの各種機器の大きさに合わせ、各牛舎の電気配線配管ルートと循環扇設備、照明設備の変更が必要になった。さらに外構工事との兼ね合いにより、屋外埋設配管配線ルートの変更が必要になったものである。当初設計で機械の大きさについては、大まかな判断で設計したということか。

A 導入する機械については、入札の結果、同等の機能を有するもので安価なものになった。その結果、大きさが変更になり、当初設計が変更になった。

【議案第62号】令和3年度八幡平市一般会計補正予算(第10号)

1億3616万円増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億3616万円を増額し、歳入歳出予算の総額を205億3268万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼子育て世帯への臨時特別給付費 1億3450万円

Q 10万円を全て現金で給付することも可能と報道されているが、当市の考え方は。

A 今回、上程した予算は5万円の給付分である。残りの分の予算化と現金を用意できるか検討しながら、可能であれば、現金10万円を一括で給付する方向で考えている。

Q 給付の対象となる人数は。

A 児童手当の支給対象になっている児童生徒と高校生が対象になる。給付する対象人数は2690人である。

【発議案第1号】八幡平市議会基本条例の一部を改正する条例

開かれた議会を目指し基本条例改正

議会基本条例第14条については、政策検討会議において、必要に応じて会議の中で委員以外の者から意見を聞くことができることに変更し、第27条では、議会事務局は議員の議会活動に必要な情報の提供について努めるものとするを新たに規定するものです。

【発議案第2号】八幡平市議会委員会条例の一部を改正する条例

3常任委員会を2常任委員会に

八幡平市議会議員定数条例の一部を改正する条例の施行により、議員定数が20人から18人に減少することに伴い、活動の合理化を図るため、現在の議会広聴広報常任委員会を除く3つの常任委員会を1つ減らし、2つの常任委員会に変更しようとするものです。

【発議案第3号】再審制度の速やかな改正を求める意見書

えん罪被害者の救済を目的とする

再審開始決定を得た事件の多くでは、開示された証拠が再審開始の判断に影響を及ぼしており、再審請求手続における証拠開示の制度の重要性は明らかである。しかし、証拠開示に係る明文の規定が存在せず、裁判所の裁量に委ねられている。平成28年に改正された刑事訴訟法の附則において、政府はこの法律の公布後、必要に応じて速やかに再審請求審における証拠の開示について検討を行う旨が定められており、証拠開示の制度化を早急に行うことが求められる。また、検察官が再審開始決定に不服がある場合は、再審公判で主張を行う機会が保障されていることから、再審請求手続の長期化を招く、再審開始決定に対する検察官による不服申立ては行えないようにすべきである。よって、国においては、えん罪被害者を一刻も早く救済するため、刑事訴訟法を速やかに改正するよう強く要望する。

質問した事項

- 関 治人 議員 (八起会)..... 6**
 - ・高齢者遠隔医療について
 - ・起業志民プロジェクト事業について
 - ・田山多目的グラウンドについて
- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ)..... 7**
 - ・新市長の政治姿勢と公約実現について
 - ・新図書館を核にしたまちづくり・人づくり事業について
- 工藤 隆一 議員 (八起会)..... 8**
 - ・市長の公約について
 - ・地域農業を守る
 - ・選挙の投票率について
 - ・教科担任制について
- 勝又 安正 議員 (八起会)..... 8**
 - ・農政の「優等生」多面的機能支払交付金と中山間地域等直接支払制度について
 - ・人口減少対策と地域経済の活性化について
 - ・八幡平市のリンドウ振興について
- 井上 辰男 議員 (八起会)..... 9**
 - ・新市長の市政について
 - ・移動期日前投票所について
 - ・防災について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ)..... 10**
 - ・市長と議会の関係について
 - ・環境保護について
- 北口 功 議員 (無会派)..... 10**
 - ・治水や防災対策の取り組みについて
 - ・HPVワクチン対策について
 - ・八幡平市メディテックバレープロジェクトについて
- 米田 定男 議員 (日本共産党)..... 11**
 - ・脱炭素社会への取り組みの強化とごみ処理広域化問題について
 - ・学校給食費無料化について
- 工藤 多弘 議員 (無会派)..... 12**
 - ・大更顔づくり施設について
 - ・市公共施設等総合計画について
 - ・特別支援学校の分教室について
 - ・市営住宅について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党)..... 12**
 - ・米価の下落について
 - ・介護保険について
 - ・子育て支援について



せき ひろと 議員

(八起会)



高齢者遠隔医療実験開始

田山地区結果もとに拡大



高齢者見守りサービス腕時計端末

問 田山地区で行われている高齢者遠隔医療実証実験の状況と展開は。

市長 常勤医師が不在となった田山診療所に通院中の患者を対象に遠隔での見守りと診療の取り組みを開始した。現在は見守りが中心で、診療については試行

段階だが、本年度は冬場の悪天候に起因する休診を防ぐことを当面の目標としている。将来は市のサポートを充実させ事業拡大する。**ス。パルタキャンプ**

問 実績と効果を伺う。
市長 これまで23回開催し、

延べ305人が参加している。全国的にも名が知られており、近年では申込者が多く10〜30倍の競争率である。キャンプをきっかけに14社が起業した。また、受講生のうち11人が転入するなど、雇用創出効果や定住対策につながっている。

田山多目的グラウンド有効活用要望

問 田山多目的グラウンドは、冬のスキー競技会場として使用されているが、それ以外はほとんど使用されておらず、有効活用が課題となっている。近隣の砂

ぼこりも問題となっている。グラウンドを緑化して、公園として地域の人がたがくつるげる場所や要望がある18ホールのパークゴルフ場も併設してはどうか。
市長 パークゴルフ場整備の関係も含め、関係団体と協議し、検討したい。



わたなべよしみつ 議員

(市民クラブ)



新市長の公約と政治姿勢

全身全霊で実現化に挑戦

期待大の新図書館

問 今選挙の争点となったハコモノ行政・コンパクト化など、大更駅前顔づくり施設(新図書館)の基本理念・将来像について、市民の意見を聞き理解と合意を深めることが肝要である。

市長 顔づくり施設の概算工事費、約22億円に疑問を持たれた市民もあると思う。地域や市民の皆さまに丁寧に説明し理解を深め建設実現に向けて全力を傾注する。**教育長** 市民のコミュニティの中心の場となる図書館事業を展開していく。

市職員の地域活動

問 地域に飛び出し自治会やスポ少指導で市民と一緒に活動する職員の評価は。
市長 八幡平市職員心得五カ条に地域づくりへの参加を規定。心得を全職員が取り組むよう督促・応援する。



まちづくりに意欲を示す市長答弁

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうりゅういち 工藤隆一 議員

稲作農家への緊急支援

10アール1800円給付



問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費の落ち込みで、米の需要は伸びず、20年産米の持ち越し在庫で米価が大幅に下落している。緊急的な支援の考えは。

市長 市の農業再生協議会へ水稻生産実施計画書を提出している農業者などで、販売を目的として主食用水稻を生産している事などを要件に10アール当たり1800円を給付する。

移動期日前投票所

問 移動期日前投票所を開設した。今後の課題は。

市長 令和4年度から教科担任制となる。導入についての見解は。

教科担任制

問 令和4年度から教科担任制となる。導入についての見解は。

地域電力会社とは

市長 電力会社設立とあるが、具体的な内容は。



J A新しいわて田頭倉庫の在庫米



かつまたやすまさ 勝又安正 議員

八幡平市のリンドウ振興

ブランド力向上の強化



問 名実ともに日本一である安代りんどうのさらなる強化継続が必要であると考え、輸出事業の運賃などを助成支援する考えはないか。

市長 安代りんどうのブランド力向上を図る上でも重要な事業であると捉えている。今後は、輸出拡大戦略による各種事業が展開されると思われるので、花卉生産部会に情報提供などの支援を行っていく。

地域経済の活性化

問 同窓会などへ市から限定補助し、宿泊施設・飲食店を支援する考えはないか。

市長 移住定住が促進される施策を早急に研究し同窓会などへの助成は今後の動向・事例を参考にしていく。

広域再編を促し農地維持の対策を

市長 高齢化などによる人材不足に悩んでいる集落の意向を確認し、広域化を望む集落に対しては、支援をしていく。各集落協定とのヒアリングの中で広域再編の意向を確認する。



青空のもと咲き誇る安代りんどう



いのうえたつお 井上辰男 議員

安比ハロウ校の開校

交流人口や経済波及効果



問 子育て世代が安心して子育てが出来る環境づくりや若者の移住・定住にどう取り組んでいく考えか。

市長 少子化が当市の大きな問題と捉えている。来年度から出産祝金を第一子から50万円に増額や待機児童が多い0歳児の保育室受入

数人を9人から21人へ増員するほか、子どもの医療費無料化の対象を高校生まで拡大する。また、移住については、スパルタキャンプによる企業創出などに努めており、都市部からの移住ニーズにも対応していく。

市長 4床の増床工事を行い、令和4年3月末には計12床となり、受け入れ可能患者数が最大48名となる。



建設中の安比ハロウ校

問 市立病院での人工透析治療について伺う。

市長 移動期日前投票所の成果および今後どのように発表させていくのか伺う。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くまざわ ひろし 議員



(自由クラブ)

後援会長に議長の本意は

私の公約に賛同する個人

八幡平市議会基本条例
第2章 議員の活動原則
(議長及び副議長)
第5条 議長及び副議長は、議会を代表する立場として、公平、中立な活動を行うものとする。
2 議会は、議長及び副議長の選出に当たり、所信表明の機会を設けるものとする。

八幡平市議会に係る条例

問 議会を代表する現職の議長が、三つ巴の市長選の1つの陣営の後援会長に就任した。これで公明正大な選挙であったと言えるのか。
市長 あるべき選挙が、ゆがめられたとする発言は理解できない。議会運営の場に後援会との関係を持ち込

むわけではない。議会と当局の関係は、維持しているものと確信している。
問 市長選では、どの政党にも推薦要請しない、いわゆる市民党的な立場であった。その後の衆議院選挙では、選挙ががき上で特定の政党の候補を推薦していた。

ど どちらが真意なのか伺う。
市長 政党支援ではなく、市長選挙で個人的に応援していた候補者を応援し、推薦したものである。
問 議決機関である議会との関係を今後どのように構築していくのか。
市長 議会基本条例第9条

の市長等との関係の基本原則にのっとり、緊張関係を維持していく。
問 政治家は、深い洞察力によって、行為の結果を予見できなければならないという責任がある。行政の最高責任者である市長の権限は絶大である。だからこそ、

議会がチェック機能・監視機能として存在している。市長が議長に後援会長を依頼したのは、間違っていたのではないが。
市長 議長の職というより、個人としての就任である。結果的に議長であったという事で問題はない。



きたぐち いさお 議員



治水防災の対策は

流域治水で水害を軽減



増水時の安比川 (浅沢地区)

問 流域治水という取り組みが始まっているが、どのような内容か伺う。
市長 一級河川の水系ごとに、あらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策である。

市長 県の事業で平成13年度から岩屋・岩木工区の築堤護岸を整備している。用地取得に進展があり、来年度より築堤護岸工事を実施する予定である。
HPVワクチン接種の啓発推進は

問 子宮頸がんは、国内で年間約1万1000人が罹患し、約2800人が死亡している。とても有効な対策であるHPVワクチン接種だが、対象年齢の期間が過ぎてしまった方への通知などは始まっているのか。
市長 国が作成したりーフ

レットを対象者の方々に郵送し、情報提供を行った。
問 新年度から始まるHPVワクチンの積極的関与の再開に対する取り組みは。
市長 時期を捉え、遅れがないように再開に向けて支援していきたい。
問 八幡平市メディテック

バレープロジェクトの展望について伺う。
市長 オンラインで医療と見守りを一体的に提供し、市民が慣れ親しんだ地域に安心して住み続けられるために、医療福祉とICTと連携する新産業を創出していく。



まいたさだお 議員



(日本共産党)

広域化は脱炭素に逆行

処理方式は今後も検討



広域化計画が進むごみ処理施設

問 気候危機が人類にとって極めて深刻な状況であり、その打開の課題は緊急で重要であるとの認識が世界に広がっている。一方、ごみ処理事業は自治体の責任であり、常に二酸化炭素排出量を最小限にする努力が必要であり当然の責務である。

市長 ごみ処理広域化に伴う長距離運搬を踏まえても、単独処理するよりも二酸化炭素排出量が10%削減されると試算されている。
問 10%削減の根拠が明確ではない。処理施設の受け入れを表明した地区からは、その絶対条件として、処理

方法は溶融炉方式、との申し入れがある。溶融炉方式は、高温達成のためにCO₂投入もあり得る方式であり、まさに脱石炭、脱炭素に逆行するものである。
市長 指摘のとおり、溶融炉方式は、CO₂投入などの燃料が必要であり、二酸化

炭素排出量が増加することが課題とされている。今後、施設整備基本計画策定時に有識者の意見を聞いて検討していくことになる。
問 施設受け入れの絶対条件として、溶融炉方式と入れているのであり、受け入れと一体のものである。

処理方式について今後検討では、地区の声を裏切ることであり、行政の最も良くない部分といえる。
市長 溶融炉方式がなぜ絶対条件なのかについても十分理解できていない。いずれ今後の検討である。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうたひろ
工藤多弘 議員

(無会派)



新図書館等運営維持費は

年間7千万から9千万円



大更駅前の新図書館等建設予定地

問 紫波町のオガールのように広い場所ではなく、なぜ大更駅西口の狭い土地に建設を予定するのか伺う。
市長 大更駅前の魅力ある商店街形成・にぎわい創出のための施設である。

市長 周辺の駐車場を活用し、100メートルから200メートル歩くことによつて人通りがで、にぎわい創出につながる効果があると考えます。
問 図書館利用者の各年代層の目標は達成しているか。
教育長 昨年度は市民一人

当たり貸出点数の目標指数を2・0点と定めた。10代後半と20代および50代以上の年齢層では、目標指数を下回っている状況である。
問 現在の図書館の跡地活用方法について伺う。
教育長 現時点で具体的な利活用の考えはないが、有

効に活用できるものと思われ、在り方も含め検討する。
公共施設維持費は年間31億4千万円
問 インフラ施設、建物施設の維持管理費の見直しは。
市長 インフラ施設の道路、橋梁、上下水道の管路など

の老朽化により年間維持費は増加していく。建物施設も同様である。
問 公共施設の統合や除去の進捗状況について伺う。
市長 策定中の公共施設再編計画において、未利用施設を対象に廃止または譲渡などを検討している。



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員

(日本共産党)



早急の入所必要者18名

民間有料施設の計画期待



安代地区の高齢者生活支援ハウス

問 今年4月時点で、市内の介護施設入所希望者は234人で、うち早急に入所が必要な方は18名となっているが対策を伺う。
市長 4月以降、早急に入所が必要な18人のうち、6名が施設入所した。他に、民間の住宅型有料老人ホー

ム整備の計画があり、待機者解消に有効と考えている。
米価下落対策を
問 今年の米価は農協の仮渡金で23%下落した。今年のはトマト・ピーマンなど野菜の市場価格も暴落しており、米と野菜で本市の農家

収入は、5・5億円ほど減収している。市の支援事業である農業機械導入への支援事業の拡大が必要ではないか見解を伺う。
農林課長 限られた予算の中で、事業の拡充は考えていないが、今後農家の意見を伺い検討していく。

新たな子育て支援
問 現在3歳からの保育料は無料であるが、2歳までの保育料も無料にするべきではないか。
地域福祉課長 年間3020万円あれば保育料の完全無料化は可能と思われる。

問 国民健康保険税で、就学前の子どもの均等割が国の制度で半額になる。宮古市などは18歳まで均等割免除しているが、当市も実施を検討するべきである。
市長 国の制度なので、自治体間で不平等にならないよう国が負担するべきだ。

議会の動き

(10月1日~12月31日)

10月

- ▶6日 議会運営委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶11日 令和3年第3回臨時会、議会改革推進会議
- ▶18日 議会改革推進会議議員研修会(ワークショップ)
- ▶22日 令和3年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶27日 盛岡地区広域消防組合議会(10月定例会)

11月

- ▶5日 議会広聴広報常任委員会
- ▶9日 議員研修会(動画視聴)
- ▶11日 産業建設常任委員会所管事務に係る視察調査
- ▶16日 議員研修会(動画視聴)
- ▶19日 議会改革推進会議議員研修会(講演会)
- ▶22日 議員全員協議会
- ▶25日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員研修、岩手県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
- ▶30日 議会運営委員会、議会広聴広報常任委員会

12月

- ▶4日 令和3年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶6日 令和3年第4回定例会(~12月14日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶8日 議会改革推進会議
- ▶9日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶10日 議会運営委員会
- ▶11日 令和3年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶17日 議会運営委員会
- ▶18日 令和3年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶21日 盛岡地区広域消防組合議会臨時会
- ▶23日 議会広聴広報常任委員会

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。